

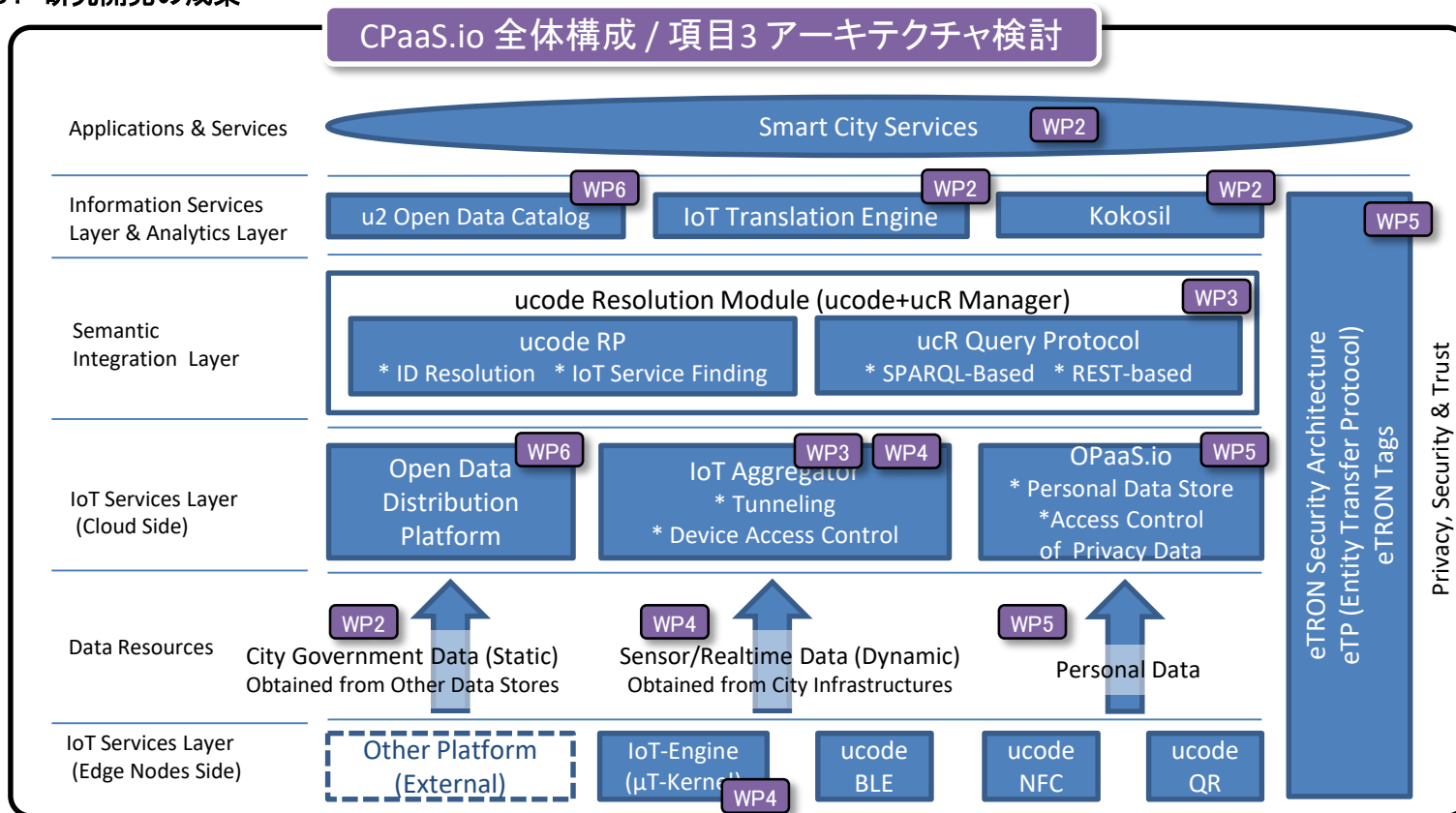
1. 研究課題・受託者・研究開発期間・研究開発予算

- ◆ 課題名 : 欧州との連携による公共ビッグデータの利活用基盤に関する研究開発
- ◆ 副題 : CPaaS.io: 統合化されたオープン・シティ・プラットフォーム・アズ・ア・サービス
- ◆ Acronym : CPaaS.io
- ◆ 実施機関 : (株)横須賀テレコムリサーチパーク、日本マイクロソフト(株)、(株)ACCESS、ユーシーテクノロジー(株)、東京大学
- ◆ 研究開発期間 : 平成28年7月～平成30年12月 (30か月)
- ◆ 研究開発予算 : 総額155百万円 (平成28年度62百万円)

2. 研究開発の目標

都市が抱える様々な問題をIoTやオープンデータを利用して解決するためのプラットフォームである、CPaaS.io (City Platform as a Service - Integrated and Open: CPaaS.io)を実現する。

3. 研究開発の成果



項目2: ユースケース検討

- 札幌・横須賀・アムステルダムでのユースケースを実証。CPaaS.ioのプラットフォームに準拠して機能することを確認。

項目4～6: 要素モジュール構築

- エッジ・クラウド間の統合モデルを、エッジ側が負荷の大きいタスクを処理するヘビーエッジモデルと、エッジ側の付加を軽減化するライトウェイトエッジモデルの2種類に分類し、プロファイル化。
- 個人データの管理ポリシーをユーザ・市民自身が定義し、コントロールするためのダッシュボードとAPIを設計。
- 公共データをコンテキストに応じて取得するデータ管理モデルとAPIを設計。

4. 特許出願、論文発表等、及びトピックス

国内出願	外国出願	研究論文	その他研究発表	プレスリリース 報道	展示会	標準化提案
0 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (14)	0 (0)	4 (1)	0 (0)

※成果数は累計件数、()内は当該年度の件数です。

(1) TRON Symposiumにてワークショップ「International Session: Stakeholder Summit on Future Cities Created by the IoT; EU-Japan CPaaS.io Project」を実施

開催日時・場所: 2017年12月14日、東京ミッドタウン
 開催概要:
 本プロジェクトでは、組み込みシステムやオープンデータに関する国際的な技術団体であるトロンフォーラムが主催するTRON Symposiumにて毎年セッションを実施し、関係者および来場者との意見交換を行っている。今年、「International Session: Stakeholder Summit on Future Cities Created by the IoT; EU-Japan CPaaS.io Project」と題し、本研究開発に協力するフィールドとしてスマートシティの取組を実施している日欧6都市のパブリックセクターの方々にご参集いただき、ICTを最大限に利活用した未来型の都市のあり方について議論するワークショップを実施した。ワークショップでは、本プロジェクトでも扱っている個人データを含むデータの扱いについて成功事例やビジョンの共有が必要等、来場者も交えた議論を展開した。また、セッション発表者は、野田総務大臣や小池東京都知事とも意見交換を行った。



(2) Webinarや招待講演等による研究成果の広報

4月には日欧産業協力センターが主催するWebinarに参加、9月には京都スマートシティエキスポでの招待講演でプロジェクトを紹介、プロジェクトとのWebページにて成果を公表など、積極的な広報活動を行っている。

5. 今後の研究開発計画

今年度の研究開発により、CPaaS.ioアーキテクチャの全体的な設計を具現化できた。
 また、計画執行の途中評価として第1回レビューミーティングを日本で行った結果、遂行の状況が良いということで日欧の評価者からおおむね良い評価をもらった。
 次年度は、レビューにて指摘を受けた日欧間での連携を強化し、アーキテクチャの最終的な整理を行う。

6. 外国の実施機関

Bern University of Applied Sciences, AGT Group (R&D) GmbH, NEC Europe Ltd., Odin Solutions S.L., The Things Industries, University of Surrey